

国民大運動行動報告

第012号
2018年
7月5日

「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」
国民大運動実行委員会
〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館内
Tel 03-5842-5611 Fax 03-5842-5620

～第 196 通常国会 国民大運動・安保破棄中実委・中央社保協主催 7・4 定例国会行動～

今こそ市民と野党の本気の共闘で全力でたたかい抜こう！



6月20日、自民、公明与党が国会会期を7月22日まで32日間の延長を強行し、29日には多くの国民の声に耳を傾けることなく、働き方改革法案とTPP11法案の採決を強行し成立させたことは決して許されるものではありません。与党と維新などは、何が何でもカジノ実施法案などの会期内での成立も狙っていますが、国民主権と議会制民主主義が踏みにじられた森友・加計疑念の究明は何も行われておらず、徹底究明されなければなりません。

そのような中で今国会最後の定例国会行動が、自治労連の小泉治中央執行委員の司会により参議院会館前で行われ、80人が参加しました。また、憲法共同センターから安倍9条改憲NO! 3,000万人署名(352,643人分)の提出が行われ、社会保障の拡充を求める署名など38,774人分と合わせ、寄せられた391,417人分の署名を新婦人の湯原通江さんが仁比聡平参議院議員に託しました。



< 発言概要 >

今国会がやるべきことは悪法の強行ではなく、

歴史的犯罪である森友・加計疑念の徹底究明だ！

主催者挨拶を行った全日本民医連の木下興事務局次長は、過労死家族の会の皆さんが傍聴し見守る中で働き方改革法案を強行採決、成立させたことを強く批判した。さらに、残りの会期でカジノ実施法案、水道法改定案の成立を狙い、辺野

古への埋め立て工事着工明言や原発再稼働固執の第5次エネルギー基本計画の閣議決定についても批判し、「今国会がやるべきことは、悪法の強行ではなく森友・加計疑惑の徹底究明」だと厳しく指摘した。また、国連人権理事会からも見直しが求められている、生活保護基準の引き下げについても強く批判し「残る会期、市民と野党の共闘を大きくし、悪法と対峙したたかおう」とよびかけを行った。

北東アジアの平和のために一日も早く安倍政権を終わらせ、 憲法がいきる政治を切り拓こう！

国会報告を行った日本共産党 仁比聡平参議院議員は、採決を強行した働き方改革法案、TPP11 は、過労死ご遺族の皆さんの願いを正面から踏みにじるものであり絶対に許す訳にはいかないと、廃止に追い込む決意を述べた。また、外遊を理由に国会を敬遠する安倍首相についても「一日も早く退陣に追い込もう」と強くよびかけた。森友疑惑に関わる新たな文書についても真相解明に背を向ける安倍政権とともに、バクチを合法化するカジノ実施法案についても批判し、私たちのたたかいが安倍政権を追い詰めているとし、「今こそ市民と野党の本気の共闘で全力でたたかいぬこう！」と強くよびかけた。



戦争法が強行された19日を決して忘れない！

安倍政権退陣と北東アジアの平和のために、3,000万人署名をすすめよう！



憲法共同センターの長尾ゆりさんは、憲法共同センターでの3,000万人署名の集約数が、本日提出分を含め1,500万人を越えたことを報告。「この間8ヶ月あまりで積み上げてきた力が改憲発議をさせない力となり、市民と野党の共同をすすめる力になっている」とし、保守の皆さんを含めて3,000万人分を集めきり「安倍政権を退陣に追い込もう」とよびかけた。その上で、「数々の悪法を強行し、民主主義を土台から破壊する安倍政権を許さない思いを7・19国会前大行動に持ち寄ろう」と強くよびかけた。

横浜の街を賭博から守れ！カジノ法は絶対反対！！

カジノ誘致反対横浜連絡会の金谷和夫さん（革新懇横浜連絡会事務局長）は、「平和友好都市である横浜を賭博で汚すのは許せない」とIR推進法案を批判し、「市民がカジノに反対であることを商工会などに申し入れたり、超党派の集会や、200人以上での市庁舎包囲行動など学習や運動を積極的に行っている」と報告。「誘致候補地近くの元町商店街で署名活動を行った際は、観光客も協力してくれた。賭博は許さない。憲法改正反対の運動とともに、皆さんと一緒にがんばっていく」と堅く決意を語った。



沖縄県知事選に必ず勝利して、辺野古新基地建設を止めよう！

安保破棄中央事項委員会の東森英男事務局長は、この間の南北首脳会談、米朝首脳会談による平和への動きに触れながら、「日本政府には憲法 9 条をいかした外交努力こそが求められている」と述べた。また、これまで北朝鮮や中国の脅威を口実にすすめられてきた大軍拡の路線は破たんしつつあると指摘し、一基 1,000 億円ものイージス・アショアやオスプレイ配備・新規購入、民意無視の辺野古新基地建設強行を強く批判した。その上で「11 月 18 日の県知事選で翁長知事が再選すれば、新基地建設は頓挫する」とし、沖縄と連帯する活動を大きく広げ、23 日昼に新宿で行われる「北東アジアの平和構築大宣伝行動」への参加をよびかけた。



今後の行動に結集し、市民と野党の共闘をさらに広げていこう！

行動提起を行った国民大運動の渡辺正道事務局長は、急な行動提起の中での参加への御礼とともに、今国会での 12 回に及ぶ定例国会行動での参加者数は 2,660 人、提出署名数は本日分も含め 543,373 人分であると報告。三者による定例国会行動は本日を最後とし、今後は総がかり行動実行委員会が提起する、7 月 5 日、12 日の木曜日行動、そして 19 日は 6・10 国会行動に匹敵する規模での大行動が提起されているとし、「安倍政権退陣に向けこれらの行動に結集し、市民と野党の共闘をさらに広げていこう」とよびかけた。



みんなの声で悪法を廃止させよう！

シュプレヒコールの音頭をとった全商連の天野晶さんは、「働き方改革も TPP も強行採決されたが、まだ始まってもないし終わってもいない！みんなの声を集めて廃止させよう！」と最初に強い決意を述べ、参加者全員で「安倍内閣は総辞職しろ！」「アベ 9 条改憲を阻止するぞ！」などと国会に向けて大きく声を響かせた。



＜写真上＞仁比参議院議員に署名を託す新婦人の油原さん。

＜写真左＞

積み上げられた 3,000 万人署名を前に国会報告を行う仁比議員。